

大阪・関西万博に向けた アクションプランの改訂について

2023年6月

国際博覧会推進本部事務局

1. 万博アクションプランについて

- 大阪・関西万博のコンセプトである「未来社会の実験場」の具体化に向けた、各省の予算要求や地元からの要望を踏まえた現時点における取組、検討状況についてまとめたもの。国際博覧会推進本部（本部長：岸田総理）で決定。
- 半年に1回程度改訂し、取組を具体化していく（本年6月にVer.4をとりまとめ）。

<これまでの経緯>

2020年12月 基本方針の閣議決定

2021年8月 菅前総理よりアクションプランとりまとめの指示（国際博覧会推進本部）

2021年12月 アクションプランver.1の決定（国際博覧会推進本部）

2022年6月 アクションプランver.2の決定（国際博覧会推進本部）

「健康・医療分野」を2施策から10施策へ拡充。記載項目の具体化、工程表の追加。

2022年12月 アクションプランver.3の決定（国際博覧会推進本部）

日本全国における万博メリットの享受に向けた「万博交流イニシアチブ」の追加。

2023年6月 アクションプランver.4の決定（予定）（国際博覧会推進本部）

「未来社会の実験場」と「万博イニシアチブ」の具体化。施策の拡充。

2. 「未来社会の実験場」の実現 ①モビリティ

- 最先端のモビリティ技術を会場内外で実証・導入することで、今後の社会実装に向けた契機とする。

空飛ぶクルマ（経産・国交）



- 遊覧飛行や二地点間移動など、次世代の空のモビリティである空飛ぶクルマの活用と事業化を目指す。
- 万博会場内ポート及び会場外ポートを繋ぐ二地点間運航実現に向け、2023年2月に運航事業者と会場内ポート運営事業者が決定。
- 政府として、博覧会協会、自治体、運航事業者等において行われる具体的な運航ルートや離着陸場所の選定に関する調整に協力する。

会場内周回及び会場アクセスEVバス (デジ・国交・警察・総務・経産・環境)



提供：関西電力・Osaka Metro

- 大勢の万博来場者の移動を、よりスマートに、よりクリーンに実現するために、会場内周回バス及び会場アクセスバスにEVバスを導入予定。
- 自動運転レベル4での運行や走行中給電などの新技術を融合させ、先進的かつ大規模な実証を行う。
- 2022年9月に実証事業者として、関西電力、大阪市高速電気軌道（Osaka Metro）、ダイヘン、大林組の4社を公表。

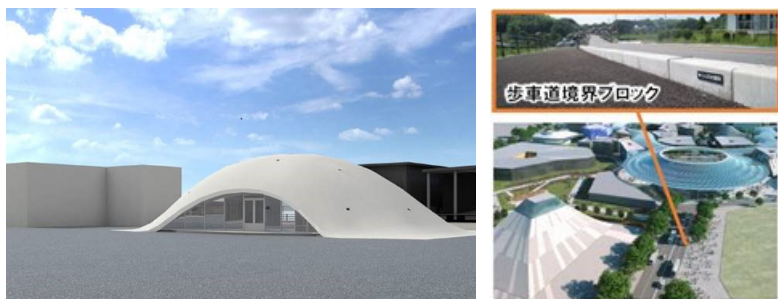
2. 「未来社会の実験場」の実現 ②エネルギー・環境

- 2050年カーボンニュートラルの実現を目指す我が国の、革新的な脱炭素技術について、会場内外で実証・情報発信を行い、社会実装を加速させる。
- 循環経済への移行に向けて、会場内でナッジの実証を行うなど来場者参加型で資源循環に取組み、人々の行動変容が万博後にも受け継がれることを目指す。

水素・アンモニア発電技術の実証（経産）

- 大規模な水素・アンモニア発電による万博会場への電力供給を目指す。
- 会場内では、水素を体感・利用することをテーマに、水素への理解を深めるための大規模催事を実施。

CO₂排出削減・固定量最大化コンクリートの実証（経産）



- GI基金事業で開発したCO₂を原料とするコンクリートで構造物やブロックを設置予定。

資源循環に関する実証・展示（経産・環境）

- 会場内の催事においては、民間企業等から提案された資源循環に資する技術についてのブース展示や資源循環に即したイベントを開催する。
- 万博会場で使用する飲食容器等について、バイオマス由来生分解性プラスチック製容器を導入し、実際に使用・分別を行うというプラスチック資源循環の体験の場を提供する。

「循環」に関する展示（日本館）（経産）

- 日本館は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をホスト国としてプレゼンテーションする拠点であり、当該テーマの具現化、日本の取り組みの発信等を行う。
- 来場者自らが、他のいのちとのつながりや循環の中で生かされている存在であり、地球といういのちの束の一部であることに気づくことができるような展示を実施。

2. 「未来社会の実験場」の実現 ③ デジタル

- デジタル化による社会課題の克服の在り方を示すとともに、デジタル活用による、言語や年齢を超えた人々の交流を実現する。
- 全ての人々がデジタルによる恩恵を受けられる社会基盤構築のため、次世代のデジタルインフラとして注目されるBeyond 5Gの研究成果を展示し、早期実現とグローバル展開を加速させる。

多言語翻訳技術（総務）

来場者同士



スタッフと来場者



ツアーガイド



セミナー・国際会議



提供：凸版印刷

- 来場者同士及びスタッフとのコミュニケーション、ツアーガイドと来場者において自動翻訳システムを活用し、コミュニケーションを促進する。
- セミナーや国際会議における講演を自動同時通訳システムを活用し、多言語で聴講者に届ける。
- バーチャル万博等での多言語翻訳技術の更なる活用を検討。

Beyond 5G ready ショーケースの実現（総務）



※展示イメージ
提供：総務省

- B5G技術を活用した未来のスマートライフを疑似体験できる大規模な展示を検討。

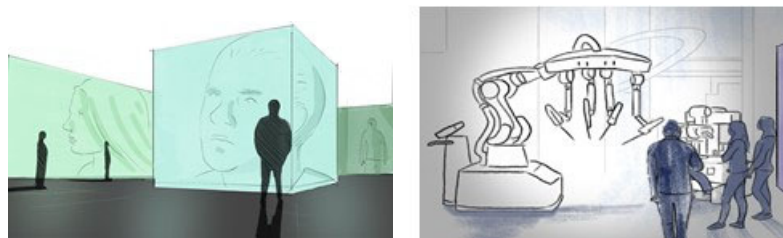
万博と連携したeスポーツの発信（経産）

- 全国に設置したサテライト施設と接続し、高齢者や障がい者、子ども等とeスポーツを通じた交流を実施。
- 海外と連携した国際大会等による国際交流を実施。

2. 「未来社会の実験場」の実現 ④ ライフサイエンス

- Personal Health Record (PHR) による個人最適化されたヘルスケアサービスの体験を提供する。
- 日本のヘルスケア産業をグローバルな観点から強化するため、会場外の大規模ビジネスイベントと連動した政府催事や、ビジネスコンテストを実施する。また、会期前からスタートアップ育成プログラムを展開する。

先進的なテクノロジーを活用した 「未来の生き方」に関する展示（経産・厚労）



※展示イメージ（内閣官房作成）

- ロボットオペ装置や排泄予測デバイス等、最新の医療・福祉機器の体験に加え、先進的な医薬品等の研究開発成果や、再生・細胞医療・遺伝子治療分野の革新的な研究開発成果について、先端技術及びデジタルがもたらすヘルスケアの未来を提示する形で一体的な情報発信を行う。
- テーマウィーク期間に、外部のビジネスイベントと連動したヘルスケア関連の大規模催事を実施予定。

Personal Health Record (PHR) の活用（経産）

- 会期前からPHR事業者が提供するアプリ等へのデータ入力を「EXPOポイント」と連携することで推奨し、蓄積したPHRや個人の嗜好などのデータを元に個人々の健康状態に即してカスタマイズされたサービス体験（例えば、会場内の飲食店等の施設と連携し、PHRを活用し、個人々にカスタマイズされた料理やメニューのレコメンドを行うなど）を提供する。

ヘルスケアビジネスコンテストの開催（経産）

- グローバルなビジネスコンテストの最終審査プレゼン・表彰や、過去の受賞者によるサービス体験等を検討。
- グローバルアクセラレーションプログラム等、ヘルスケアスタートアップエコシステムの強化に資する取組を実施し、万博に向けた機運の醸成及び関係性の構築を行う。

2. 「未来社会の実験場」の実現 ⑤その他の項目

※赤字：新規項目

1. モビリティ

- 大阪・関西万博における空飛ぶクルマの実現【経産、国交】
- 自動運転の一層の推進【デジタル、国交、警察、総務、経産】
- 日本のEVバスの技術・ノウハウ発信【経産・環境、国交】
- MaaSの推進【国交】

2. エネルギー・環境

- 水素発電技術の実証【経産】
- アンモニア発電技術の実証【経産】
- 合成燃料（e-fuel）の活用拡大【経産】
- 再エネ水素を使ったメタネーション実証【環境】
- 次世代船舶を活用した海上観光の実現【経産、国交】
- 次世代型太陽電池の開発推進【経産】
- CO₂の分離・回収技術の実証【経産】
- CO₂排出削減・固定量最大化コンクリートの実証【経産】
- 2030年度までに前倒しでカーボンニュートラルの達成を目指す脱炭素先行地域の実現【環境】
- 次世代グリーンデータセンター技術の発信【経産】
- 資源循環に関する実証・展示【経産】
- 循環に関する展示体験（日本館）【経産】
- サークュラーエコノミー及び大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの実現【環境】
- バイオマス由来の生分解性容器等の循環処理・資源化に関する実証【経産】
- 行動変容を促す資源循環のナッジ実証【経産】
- 食品ロス削減の普及啓発【消費】
- 食品ロス削減に向けた啓発、食品リサイクルループの形成【農水】
- 「ウッド・チェンジ」の発信【農水】
- 万博を契機としたCLT活用のさらなる推進【内閣官房、農水、国交、環境】
- 核融合エネルギーに関する展示【文科】

3. デジタル

- 多言語翻訳技術の高度化【総務】
- Beyond 5G ready ショーケースの実現【総務】
- 地域データの可視化によるデータ連携・データ利活用の推進【内閣府（地方創生）】
- デジタル田園都市国家構想に関連するデジタル実装モデルの海外発信・展開【内閣官房（デジ田）】
- デジタルライフラインによるSociety5.0の実現【経産】
- 量子技術が切り拓く未来社会【内閣府・総務・文科・経産】
- 大阪・関西万博と連携したeスポーツの発信【経産】
- デジタル学園祭【経産】
- サイバー/フィジカル融合による新たな感覚体験の提供【国交】
- 視覚障害者向け自律型誘導ロボット「AIスーツケース」の実証【文科】

4. ライフサイエンス

- 再生・細胞医療・遺伝子治療分野の情報発信【厚労】
- 医療機器等における先進的研究開発・開発体制強靱化事業による体験コーナー【経産】
- 日本の先進的な医薬品等の情報発信【厚労】
- 障害者自立支援機器等開発促進【厚労】
- 優良なアイデア・事業の審査への参画（ヘルスケアビジネスコンテストの開催）【経産】
- Personal Health Record（PHR）を活用した万博体験【経産】
- 介護ロボット等テクノロジーの普及【厚労】
- スマート・ライフ・プロジェクト～健康寿命をのばそう！～【厚労】
- 認知症バリアフリーの取組推進【厚労】
- ユニバーサルヘルスカバレッジって大事だね！【厚労】

2. 「未来社会の実験場」の実現 ⑤その他の項目

※赤字：新規項目

5. 観光・食・文化・教育・スポーツ

- 大阪・関西万博を契機とした全国への誘客促進【内閣官房（万博）、国交】
- 日本の国立公園の魅力発信（国立公園満喫プロジェクト）【環境】
- 未来社会・フューチャーライフに向けた被災地の復興や人・地域の魅力の情報発信【経産、復興】
- 日本食文化・ジビエ・農泊・農業遺産・海業の発信【農水】
- 日本の食文化の発信【文科】
- 日本産酒類の情報発信【財務】
- 「日本博2.0」の展開【文科】
- クールジャパンの総力を結集した機運の醸成【内閣府（知財）】
- 日本の工芸品・和楽器の対外発信【経産】
- 日本の新たな才能を万博～映像マーケットを通して発掘し世界に発信するプロジェクト【経産】
- 映像・芸術文化が形作る被災地の魅力ある未来社会に向けた発信【経産】
- アイス文化の対外発信【内閣官房（アイヌ）】
- スポーツの新たな価値の創造等による多様性・可能性の追求【文科】
- 「Sport in Life」の推進と障害者スポーツの振興【文科】
- 大阪・関西万博への修学旅行等に係る情報発信について【文科】
- 2025年大阪・関西万博に関する「ジュニアEXPO2025」教育プログラムの周知【文科】
- 万博国際交流プログラム【内閣官房（万博）】
- 日本の建築文化【文科】
- 日本のアート発信とアートを起点とした相互交流【経産】
- 関西発「ワザ」と「コンテンツ」の未来体感フェスティバル【経産】
- 花き園芸文化を通じた2027年国際園芸博覧会の情報発信【農水・国交】

7. その他

- ウーマンズバザール出展事業【内閣府（男女参画）、経産】
- いのち輝く未来社会「持続可能なまちづくり」の実現 日本版SDGsモデル（地方創生SDGs）の国内外発信・展開【内閣府（地方創生）】
- テーマウィークプロジェクト【内閣官房（万博）】
- 大阪・関西万博を契機としたMICEの誘致・開催の推進【国交】
- 大阪・関西万博特別仕様ナンバープレートの普及促進【内閣官房（万博）・国交】
- 記念貨幣のシリーズ発行【財務】

6. 科学技術

- 情報統合研究事業 ガーディアンロボット（次世代ロボットの研究開発）【文科】
- 自動配送ロボットによる配送サービスの提供【経産】
- ロボットフレンドリーな環境の実現【経産】
- 宇宙を通じて、いのちを感じる【内閣府（宇宙）、文科】
- 海洋関係の取組発信【内閣府（海洋）】
- 防災DXを活用した災害・対応情報の提供【文科】
- リモートセンシング技術による高精度データの収集・分析・配信技術の開発【総務】
- 熱中症や高潮浸水の高解像度物理シミュレーションによる早期の情報提供【国交】
- 各種警察活動における小型無人機の更なる活用等に向けた検討・調整【警察】
- ムーンショット型研究開発制度【内閣府（科技）】
- 戦略的イノベーション創造プログラム【内閣府（科技）】
- 「共創の場」が創る“未来のありたい社会”【文科】
- 被災地から生まれる未来社会に向けた創造的復興（Creative Restoration）の発信【経産、復興】
- スマート×グリーン技術の実証（農業）【農水】
- スマート×グリーン技術の実証（林業）【農水】
- スマート×グリーン技術の実証（水産業）【農水】
- 増大する食料需要等に応える代替肉・代替飼料などのフードテック事業創出の推進【農水】
- 月面等における長期滞在を支える高度資源循環型食料供給システムの開発【農水】
- 「みどりの食料システム戦略」の実現に向けたプロジェクト【農水】
- 知的財産の活用による社会課題解決の実現【経産】
- 万博会場を活用した未来思考の中小企業の魅力・価値の発信【経産】
- Global Startup EXPO 2025（仮）【経産】

計 93施策（うち新規施策10件）

(参考) テーマウィークのテーマ決定 (博覧会協会)

- 協会は、テーマウィークの8つのテーマを2023年6月2日に発表。(各日程は、本年秋頃に決定予定)
- アクションプランに登録された関係省庁の取組について、各テーマウィークに合わせた実施を検討。また、公式参加国、自治体など様々な主体が、会場内外での実施に向け今後調整。

テーマ (ウィーク名)	テーマ (問い)
地球の未来と生物多様性 ウィーク	豊かで多様ないのちが住む地球を未来に残すために、私たちは何をすべきか？
健康とウェルビーイング ウィーク	一人ひとりのウェルビーイングが共鳴する社会をどう実現するか？
平和と人権 ウィーク	あらゆる差別をなくし、互いを尊重し合う社会を実現するために、世界は何をすべきか？
食と暮らしの未来 ウィーク	全ての人々が食と暮らしに困ることがない未来はどのようにすれば実現できるのか？
学びと遊び ウィーク	AI時代において人は何を学ばば良いのか？
未来への文化共創 ウィーク	多様な文化が共鳴し、未来への文化が共創されるために、私たちは何をすべきか？
未来のコミュニティとモビリティウィーク	誰もがその人らしく生きられるコミュニティとは？
SDGs+Beyond いのち輝く未来社会 ウィーク	SDGsは達成できるか？ そして、その先はどうする？

<クロスカuttingイニシアチブ>

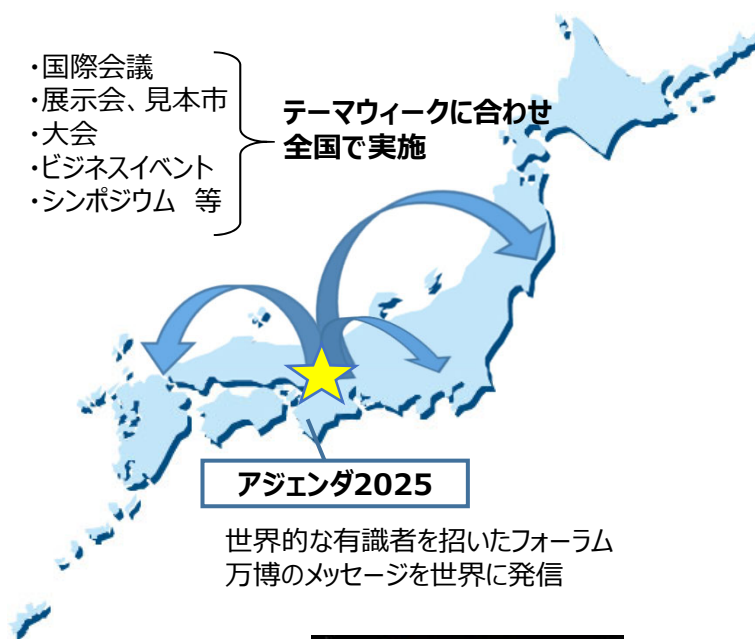
経済・イノベーション

人口動態・少子高齢社会

次世代・インクルージョン

「テーマウィーク」とは

地球規模の課題を週単位でテーマとして設定し、本格的な対話プログラムや国際ビジネス交流を実施



Expo 2020 Dubai World Majlisの様子

3. 全国的な機運醸成 –万博交流イニシアチブ–



3. 全国的な機運醸成 – 地方自治体の取組–

1. 全国知事会の取組

- **2022年7月に開催された全国知事会（会長；平井伸治 鳥取県知事）**において、大阪・関西万博に向けて都道府県が一致団結して機運を高めていくとした決議を採択。
- 全国知事会に「大阪・関西万博推進本部」を設置。
 本部長：平井鳥取県知事
 副本部長：吉村大阪府知事
- **2023年2月、第1回大阪・関西万博推進本部会議を開催。**各自治体それぞれが実施する取組みについて紹介。
- **6月5日に第2回推進本部会議を開催。**万博を契機にした地域活性化を後押しする国の支援を求める提言案を取りまとめ。
- 全都道府県庁に万博開幕へのカウントダウンボードを設置。



2. 万博首長連合の取組

- **2021年11月、万博首長連合（会長；阪口 伸六 大阪府高石市長（当時））が、全国の機運醸成等を目的として設立。**万博や地方創生についての情報発信やセミナーを実施。
- 現在、全国の631の市町村が参加。
- 参加自治体の首長による先進事例の共有や、連携企業の協力を得たワークショップの開催を通じ、自治体同士や自治体と企業との連携を強化。
- **参加自治体合同での万博への催事出展に向けて検討中。**
- 「万博弁当」「万博音頭」を企画。



万博首長連合 体制（役員）

会長	澤井 宏文	松原市長
会長代行	田中 幹夫	南砺市長
副会長	立谷 秀清	相馬市長
	古口 達也	茂木町長
	滝沢 亮	三条市長
	未松 則子	鈴鹿市長
	千代松 大耕	泉佐野市長
	西村 和平	加西市長
	長野 恭紘	別府市長
監査役	高橋 邦芳	村上市長
	小林 豊彦	弥彦村長

※2023年6月時点

4. 全国的な機運醸成の取組

①大阪・関西万博特別仕様ナンバープレートの普及促進 (内閣官房(万博)・国交省)

- 全国的な機運醸成を図る観点から、大阪・関西万博特別仕様のデザインを施した自動車のナンバープレートを期間限定(2025年までの間)で全国の希望者に交付。
- ナンバープレートは寄付金(1,000円以上)の有無で2種類準備。
- 交付金額は全国平均で8,413円、大阪地区の場合は8,400円。(中板2枚1組)
- 交付期間：2022年10月24日(月)～2025年12月26日(金)

	登録自動車(自家用)	登録自動車(事業用)	軽自動車(自家用)
フルカラー版 (寄付金あり)			
モノトーン版 (寄付金なし)			

4. 全国的な機運醸成の取組

②大阪・関西万博 記念貨幣の発行（財務省）

- 大阪・関西万博を記念して、開催までに3回に分けて記念貨幣が発行される予定。
- 第一次発行分として、千円銀貨幣を5万枚発行し、価格は13,800円（税込）。※
- 裏面は、虹色発色加工(溝を微細に加工し、見る角度によって発色が変わる) を用いてデザイン。
- (第一次発行分) 申込受付期間：2023年8月8日から3週間程度。
- 第二次、第三次も発行予定（スケジュールは未定）。

【表面】



(ロゴマークと万博会場)

【裏面】



(ロゴマーク)



※素材に貴金属を使用し、光沢を持たせるなど特殊な技術を用いて製造するため、貨幣の製造に要する費用が額面価格を上回るもの。